



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第114号】



参観日に思う

毎月の参観日、学校にきて、いろいろと見ますか。みなさんの子ども頃と勉強の進め方がちがっていることでしょうか。教員、授けり授業から、自分で求めて学ぶ学習への転換です。そんな目で見て下さい。

○親の顔たしかめて子の
はつらつと

うちのお母さん来てるかな。あ、来ています。とたんに子どもは元気づくものです。

○子の名まえ呼ばれて親が
紅潮し

うまく答えられるかな。親の胸はドキドキ。顔がほてります。

○よそ行きの顔で授業の
参観日

先生もほり切っています。いつもの顔とちがうぞ。黒板の字もきれいだ。

○親と師のへだたりうめる
総談会

参観後の学級部会、どうして少ないのでしょうか。子どもを立派にお月見することが共通の願いです。部会までお残り下さい。
(校長、橋本)

のびのび体験学習

バス見学

二年一組

中島健太

ていりゆうじよのみなさんへ、何でもおしえていたいてありがとうございました。おかげでいろんなことがわかりました。かんこバスが三十八台、ふつうのバスが一〇台いたことはしりませんでした。

バスの中を見ると、本で見たかみより多いような気がしました。バスをあらうところやしゅうりすると、バスをあらうところを見せてもらいました。水がとんできてひっかかりました。でもおもしろかったです。バスのしたをもぐって下を見ると、いろんなものがありました。ありがとうございました。

二年一組

本田しょう子

バスのえいぎょうしよのおじさん、わたしたちみんなをバスにの



ほくのケン玉すごいでしょう！

せてくれてどうもありがとうございます。わたしは、バスのしゅうりこうじよをみたのははじめてです。でも、はじめて見てびっくりしてしまいました。バスの下にかいだんがあつて、その中にはいられてともうれしかったです。わたしは通っている時、バスからおしつぶされなかなあと思ひながら通りました。バスのしごとはきついですか、きつくはないですか。これからもバスをあんぜんにうごかしてください。日曜日とはとてもたのしかったです。

昔の遊び

五年一組

藤原朱子

十一月九日、五年生は「昔の遊び」でした。アキカンポックリとチャンバラごっこをしました。みんなはいっしょけんめいにカンにあなをあげたり、ひもを調節したりして作りました。外に出る時おもしろそうだったので、ろうかでも乗ってしまいました。アキカンでケンケンパーをしました。競走もしました。運動場一周では、四位でした。カンがよがんだ人もいましたが、私はいじょうぶでした。チャンバラごっこもおもしろかったけど、アキカンポックリ



火砕流溶岩をくだき、
なにでできているのかな？

が一番楽しかったです。

五年四組

今坂雄一

ぼくたちは、のびのび体験で、五×一―五やひまわりなどをしました。みんな楽しくて楽しくてたまらなかつたです。ひまわりは、あまりたいしたことはなかつたけど、八幡神社でやったカンけりが一番楽しくてよかつたと思います。なんたつて広くて、かくれやすいけどすぐ見つかつてしまいます。やつていて手に汗をにぎるようなきんちよう感がなんともいえませんでした。

みんなふだん、めつたにしない昔の遊びにまんぞくしたと思ひます。

授業参観

三年一組

佐藤 佳菜



わたしは、じゅぎょうさんかんのまえの時間、はんかちの出し物のれんしゅうをしました。じゅぎょうさんかんが始まりました。先生が、「かなさんみたいに手をひざにおきなさい」と言われました。だからうれしかったです。一ばんから七はんまでをまわっている

時、はやく八はんにならないかなあと思っていました。がっそうをする時とてもきんちょうしました。でも、じょうずにひけました。

四年四組

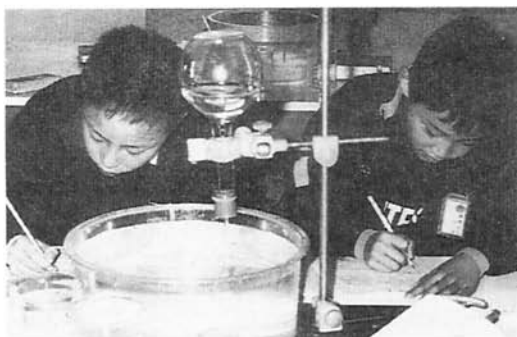
広瀬 亜美

じゅぎょうさんかんは理科の時間でした。問題は、「ふん水を作ろう」でした。まず水そうに水を入れ、それにまる底フラスコのさきまにぼうのついているのをさかさまにつけて、湯をかけてすぐ水をかける実験です。水をかけた時にふん水ができます。その実験をひとはんづつしていき、わたしたちのはんにまわってきました。まず湯をかける所まではよかつたんだけど、水が少ししか入っていませんからふん水があまりできませんでした。ちよつびりしつばいしたのでとてもくやしかったです。

五年二組

村 里 和 哉

ぼくたち五年生は、十一月二十七日の四校時を使ってドッチボールをしました。どこのクラスもは



ふん水はなぜできるか……う～んそれが問題だ！

りきっていました。お父さん・お母さんたちも、子どもたちに負けずどんどんうけて、あてていました。どこの組もお父さん・お母さんにあてられて負けていました。しかし、四組だけがお父さん・お母さんたちに勝ちました。他の組もおもしろいところまで負けてしまいました。

この一校時は本当におもしろい時間でした。

五年四組

泉 公 治

「今日のめあては、下田君のお

母さんを当ててにします。」十一月二十七日の朝の会で決まったためあてでした。ほくのお父さんは来れなかったけれど、下田君のお母さんや先生を当てたいとはりきっていました。ほくが外野から内野に戻ってきます。さあ、いよいよほくの一番！構えようと思ったら上野先生のボールがビュー！！あつという間に外野にぎやくもどりです。とてもくやしかったけど、先生の喜ぶ顔を見ると、うれしくなりました。今度はお父さんのボールに当たりたいなあ。



子ども達にはまだ負けないよ

親子ドッチボール に参加して

◎ 前田 敬 信

「十一月の授業参観は親子のドッチボール対決やで、とてもかわんからお父さん出てくれる」と家内に頼まれ、今年はソフトも相撲もなく、子どもの頑張っている姿を久しく見てないなと思いついた。

若くて、美しいお母さん達の姿に胸は高なり、いやそれにも増して子ども全員の「やるぞ!!」と立ち向かって来る姿につい真剣になり、何十年ぶりのドッチボールに熱中し、快い汗をかいた。館内に子ども達の歓声が沸き上り、一つのボールで先生方と親子の楽しい時間が持てた。こんな機会を作って頂き感謝しています。

◎ 原 田 三津枝

「ドッチボールだから来なくていいよ!」と言っていた、五年生の授業参観。「お母さん一組に出て!」、「四組も少ないから、四組に出て!」と双子の娘が張り合った様子で帰って来ました。出席して判りました。一番感じた事、五年生ともなるとスピードが速く強かった事。二番にやった事、つ

いつい子供につられて一生懸命負けまいとゲームをしていた。三番に思った事、クラスが良くまとまり、皆すごく楽しそうだった事。以前、負けても楽しかったミニ運動会での全員リレーを思い出しました。参加する事に意味がある様ですね。

降灰と共存する

垂水市

鹿兒島研修に参加して

副 会 長
平 野 義 信

去る十月二十・二十一日の両日、島原市PTA連合会による降灰先進地への降灰対策視察研修が鹿兒島県垂水市を訪れ行われました。現在、直面している雲仙普賢岳噴火により、学校生活に支障をきたしている子ども達のため、育友会として少しでも解消の参考になればと実施されたものであります。



鹿兒島にて

この垂水市は、年中噴火を繰り返している桜島を挟み、鹿兒島市の真向いに位置し、降灰は季節により変わるとのこと、その質は砂鉄のように黒色で粒が荒く、舞い上がることもなく、島原の灰とはまったく違ってました。

降灰対策の主なものとして、降灰検診、ブルー用エアランド、小型降灰除去車等の導入がありました。反面、垂水市では灰は降るものが考え方の前提であります。したがって、学校行事等をこのため中止することもなく、通学においてもマスク、ヘルメットを着用することもありません。

また、清掃の時間、ゆとりの時間を利用して除去作業をさせ、仕事の大変さを教えているとのこと、あらためて垂水市において灰は生活の一部であり、火山と共存している歴史を強く感じた次第です。

最後に訪問した協和中学校の教頭先生が、「本音をいいますと、あまり降灰で騒ぐと、嫁の来てもな

くなり、人口過疎につながりマイナス面があります。」と笑っていたのが印象的でした。

市P連バレー大会

◎ 広 瀬 朗

ヒーッ!!久しぶりに聞く体育館でのホイッスル。十二月一日、今年は無いらしいと思っていた市P連バレーボール大会の幕あけです。三回あった練習にも一回しか行けず(私以外は皆さん出席が良かったようですが...)ホントに体が動くのかなあ?と心配しつつ試合は始まってしまいました。

案の定、ジャンプしたつもりがスパイクはネットに引っかけたり、しっかりレシーブしたつもりがボールは後へ飛んで行く...。心と体のバランスがとれないとはこのことか?しかしながら、コート内の選手の結束と、コートサイドからの、どのチームにも負けない大きな声援をうけて、やっと思いで一小から一セットを奪いました。皆さんありがとうございます。それにしても体育館の二階には、最近まで避難していた人達の使っていた洗濯機や乾燥機が山積みしてあり、こんな時期に大会を運営された関係の皆様には感謝致します。ホント、楽しい一日でした。

体育部副部長

松本 亨

はじめまして、私は三小PTAバボちゃんです。十二月一日、市P連バレー大会が行なわれました。この普賢岳噴火でもろもろの育友会行事も中止されている中で、普賢岳おさまれ、そして子ども達を外で思いきり遊ばせて、と願いながら大会に出場し、一生懸命闘いました。結果は？ 二試合で一セツトもとったんですよ、しかたないです。久々の運動で腰が痛い、足が痛いときくしゃくとしたレシーブにアタック、さすがです。こ



さあかまえて、ボールがくるぞ！



れも普賢による運動不足ですね。しかし、その腰の痛さもつぎの日の二日酔いに比べたら……。練習は、二チームでできるくらい沢山参加してもらったんです。ですからチームワークはすばらしいものでした。

試合当日は、選手の皆さん、それに沢山の応援、本当にありがとうございました。バレーは負けただけど、普賢には負けないぞ。ガンバロー三小！

プランター設置について

環境部長

小松 廣海

学級園の上に仮設校舎が建ちました。グレーのプレハブの校舎はどうしても冷たい感じがするものです。何とか花でも植えてと思っても、その場所が無い状況で、島原ライオンズクラブに相談しましたところ、心よく六十個のプランターを寄贈していただく事となり、十一月二十五日、校長室にてライオンズクラブ会長より児童代表に贈呈していただきました。

プランターいっぱいの花を育てる事で、ハード・ソフト両面の環境整備に少しでも役立てばと思っています。

来年の春、満開の花の中で六年生を送り、新しい一年生を迎える事ができますように、環境部としても協力できることは協力をしていきたいと考えております。



おしらせ

給食調理員代替者の募集

給食調理員年休代替者をさがしています

年齢・経験問わず……。三小地区でなくてもけっこうです。やってみたい方、又はそういう人を知っている方はぜひ第三小学校（☎63-0026）まで御連絡下さい。



なつかしの島三小

五小教務主任

松尾好則

昭和五十五年四月、五島から期待と不安の中、この第三小学校へ転勤して来て、昭和六十一年三月までの六ヶ年間公私共にお世話になりました。そして第五小学校へ。

三小在勤中は主に高学年を担当し、育友会活動では体育部を中心に勉強させていただきましたが、育友会の方々の熱心な活動ぶりや先輩の先生方の優れた指導ぶりと得るものがたくさんありました。それ以来、今日までお付き合いいただいている方もたくさんいて、本当に幸せ者だと深く感謝しております。

六月三日の大火碎流で三小へ避難して来た時はしばらくの間、三小へ転勤して来たような錯覚さえおぼえました。子ども達の転出・仮転出とあつという間に半年が過ぎましたが、三五小の子ども達もお互い仲良くなり、たくさんの方達ができたことをうれしく感じています。

いつまで続くかわからないこの普賢岳災害ですが、負けてばかり



仲よし三五小の子ども達

はいられません。三五小の先生方、子ども達が力を合わせて、この災害をプラスにするように頑張っているかねばならないと思います。三小の皆さんには大変ご迷惑をおかけしておりますが、今後ともよろしくお願ひします。

思春期の

我が子を思う

—教育講演会を終えて—

教養部長 内田 憲一郎
学級部長 荒木 修

十二月九日、白山公民館におきまして、二中の主催で三小・二小・

五小・三中の協賛で教育講演会が開催されました。当日は急に冷え込み、多くの参加が得られるかと心配いたしました。二百六十名を越す会員の出席がありました。講師の総合科学大学教授の広木克行先生のお話は、「思春期の我が子とどう付きあうか」というものでしたが、出席されたみなさんが切実な問題として大変わかりやすく、説得力のあるお話でした。特に背筋力の無い子どもは、集中力に欠ける。最近の子どもは、やる気が無いと言われるが、本当はなすすべを知らないものであり、それを親が教えなければいけない。子どもの頃に伝記を読んでもあげる。



そして中学生になったら、下着は自分で洗濯させる。又、男の子は家族旅行の時など父親と一緒に風呂に入る事などをすすめておられました。

思春期は子どもにとって嵐の時代だけど、子どもにできる事から始め、やればできるという経験をさせる。子どもに学ぶ目的、生きる目的をつかませ、夢を持たせる事が思春期の子どもにとって大切な事だと結んでおられました。またたくまにすぎた二時間、大変参考になりました。

編集後記

「噴煙たなびく普賢をあおぎ、負けじと学ぶ三小の子」

諸々の行事等ができぬ中、しばしの別れ・出会いとめぐるしい一九九一年も残すところ十日あまり子ども達の笑顔と笑い声に励まされ、今年最後の「がんばら一四号」をお届けします。

来る年一九九二年が幸多き年でありますように……。皆様、良いお年をお迎え下さい。

(広報スタッフ一同)

